

人類生態学教室年報

2015-2016

Biannual Report of the Department of Human Ecology

2017年7月

東京大学大学院医学系研究科国際保健学専攻

人類生態学教室

Department of Human Ecology, School of International Health,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目次

目次	1
教育活動	2
学部講義	2
学部実習	8
原書購読	9
大学院講義	9
卒業論文	11
修士論文	11
博士論文	11
研究業績	12
原著論文	12
単行本	15
総説・資料・他	15
学会発表	15
受賞	18
競争的資金の獲得	19
政府系競争資金	19
その他の競争資金	20
教室員一覧	22
人類生態学教室ウェブサイト	23

教育活動

学部講義

【生理学】

2015年度 必修・2単位 2年 A2 月曜日 13:00～16:40

担当：佐々木誠一（茨城県立医療大学）

- 1月18日 生理学の基礎、呼吸、循環
- 1月25日 血液、消化と吸収、腎臓の機能
- 2月1日 内分泌、生殖
- 2月8日 神経、シナプスと筋
- 2月15日 神経系、感覚
- 2月22日 血圧測定と心電図記録に関する実習

2016年度 必修・2単位 2年 A1 金曜日 13:00～16:40

担当：佐々木誠一（茨城県立医療大学）

- 9月30日 生理学の基礎、呼吸、循環
- 10月7日 血液、消化と吸収、腎臓の機能
- 10月14日 内分泌、生殖
- 10月28日 神経、シナプスと筋
- 10月4日 神経系、感覚
- 10月11日 血圧測定と心電図記録に関する実習

【薬理・毒性学】（2016年度は「薬理学・毒性学」）

2015年度 必修・2単位 2年 W 火曜日 8:30～12:10

- 1月5日 毒性発現
渡辺知保（人類生態学）
- 1月12日 自律神経および循環薬理学
飯野正光（細胞分子薬理学）
- 1月19日 薬物動態学の基礎（薬物速度論・薬物間相互作用）
刈谷嘉頭（附属病院薬剤部）
高田龍平（附属病院薬剤部）
- 1月26日 循環器・生活習慣病領域の臨床試験およびゲノム解析について
山崎力（臨床研究支援センター）
森田啓行（22世紀医療センター・健康医科学創造講座）
- 2月2日 薬のライフサイクルと調査研究
小出大介（臨床疫学システム講座）
中枢神経系の薬理学
掛山正心（早稲田大学人間科学学術院）
- 2月9日 薬理・毒性学の基本
遠山千春（健康環境科学技術国際コンサルティング）
- 2月16日 化学療法（抗生物質・抗腫瘍薬）
北潔（生物医化学）
薬害と公害
渡辺知保（人類生態学）

- 2015年度 必修・2単位 3年 S1 火曜日 8:30～12:10
- 4月7日 薬理・毒性学の基本
遠山千春 (健康環境科学技術国際コンサルティング)
- 4月14日 自律神経および循環薬理学
飯野正光 (細胞分子薬理学)
- 4月21日 化学療法(抗生物質・抗腫瘍薬)
北潔 (生物医化学)
中枢神経系の薬理学
掛山正心 (早稲田大学人間科学学術院)
- 4月28日 循環器・生活習慣病領域の臨床試験およびゲノム解析について
山崎力 (臨床研究支援センター)
森田啓行 (22世紀医療センター・健康医科学創造講座)
- 5月12日 薬物動態学の基礎 (薬物速度論・薬物間相互作用)
刈谷嘉顕 (附属病院薬剤部)
高田龍平 (附属病院薬剤部)
- 5月19日 薬のライフサイクルと調査研究
小出大介 (臨床疫学システム講座)
毒性発現/薬害と公害
渡辺知保 (人類生態学)

- 2016年度 必修・2単位 2年 A2 火曜日 8:30～12:10
- 11月22日 薬理・毒性学の基本
渡辺知保 (人類生態学)
- 11月29日 薬物動態学の基礎(薬物速度論・薬物間相互作用)
鈴木洋史 (附属病院薬剤部)
高田龍平 (附属病院薬剤部)
- 12月6日 化学療法(抗生物質・抗腫瘍薬)
渡邊洋一 (生物医化学)
中枢神経系の薬理学
掛山正心 (早稲田大学人間科学学術院)
- 12月13日 循環器・生活習慣病領域の臨床試験およびゲノム解析について
山崎力 (臨床研究支援センター)
森田啓行 (循環器内科)
- 12月20日 薬のライフサイクルと調査研究
小出大介 (臨床疫学システム講座)
毒性発現/薬害と公害
渡辺知保 (人類生態学)
- 1月10日 自律神経および循環薬理学
廣瀬謙造 (神経生物学)
自律神経薬理学
上田泰己 (システムズ薬理学)

【医療人類学】

- 2015年度 選択・2単位 3年 S1S2 金曜日 16:50～18:35
担当: 梅崎昌裕 (人類生態学)、田所聖志 (秋田大学)、
卯田宗平 (ASNET)
- 4月10日 オリエンテーション

- 4月17日 信念・身体観①
- 4月24日 信念・身体観②
- 5月1日 文化相対主義①
- 5月8日 文化相対主義②
- 5月22日 リスク論・Actor-based model①
- 5月29日 リスク論・Actor-based model②
- 6月5日 病人役割・患者役割
- 6月19日 ヘルスケアシステム
- 6月26日 リーダーシップ
- 7月3日 宗教・信仰
- 7月10日 正義論
- 7月17日 まとめ

2016年度 選択・2単位 3年 S1 金曜日 16:50～18:35
 担当: 梅崎昌裕 (人類生態学)、田所聖志 (秋田大学)、
 卯田宗平 (国立歴史民俗博物館)

- 1月8日 概念・信念
(1～2月 履修学生との個別講義)
- 4月15日 身体観
- 4月22日 リスク論
- 5月6日 病人と患者の役割
- 5月27日 宗教・信仰
- 6月25日～26日
フィールドワーク実習
(千葉県鴨川市周辺; 千葉大学海洋バイオシステム研究センター周辺)

【食品安全評価学】

- 2015年度 選択・2単位 3年 S1 月曜日 13:00～16:40
- 4月6日 食品安全の科学と哲学
遠山千春 (健康環境科学技術国際コンサルティング)
人類生態学からみた食品
渡辺知保 (人類生態学)
 - 4月13日 食品中化学物質の安全性の評価／食品添加物と安全性
遠山千春 (健康環境科学技術国際コンサルティング)
 - 4月20日 食品と農薬
高野伊知郎 (東京都健康安全研究センター)
英文原著論文演習1
遠山千春 (健康環境科学技術国際コンサルティング)
 - 4月27日 食品摂取の実態把握の方法と課題
佐々木敏 (社会予防疫学)
 - 5月11日 新開発食品の有用性について
志村二三夫 (十文字学園女子大学)
食品中毒と疫学方法論
山崎新 (国立環境研究所)
 - 5月18日 食情報とフードファディズム
高橋久仁子 (群馬大学)
 - 5月25日 英文原著論文演習2／試験

遠山千春 (健康環境科学技術国際コンサルティング)

【人類生態学】

2015年度 必修・2単位 3年 S1S2 火曜日 8:30～12:10

6月1日 人間生態系とは何か／適応のとらえかた
渡辺知保 (人類生態学)

6月9日 適応手段としての化学物質
渡辺知保 (人類生態学)

6月16日 都市の生態学／サステナビリティ
渡辺知保 (人類生態学)

6月23日 GISの健康分野での活用例
安本晋也 (人類生態学)
環境モニタリングと生物モニタリング
清水華 (人類生態学)
ライフスタイルの近代化と健康転換
井上陽介 (人類生態学)
生物学的人口学
小西祥子 (人類生態学)

6月30日 人類の進化／生存様式の多様性
梅崎昌裕 (人類生態学)

7月7日 栄養・行動・人口の生態学
梅崎昌裕 (人類生態学)

2016年度 必修・2単位 3年 S1 火曜日 8:30～12:10

4月5日 人間生態系とは何か／適応のとらえかた
渡辺知保 (人類生態学)

4月12日 休講

4月19日 現代の人口問題
梅崎昌裕 (人類生態学)

4月26日 人類の起源／生物的適応
梅崎昌裕 (人類生態学)

5月10日 栄養適応・行動適応
梅崎昌裕 (人類生態学)

5月17日 疾病の生態学的理解／適応手段としての化学物質
渡辺知保 (人類生態学)

5月24日 都市の生態学／サステナビリティ
渡辺知保 (人類生態学)

【環境保健学】

2015年度 選択・2単位 3年 A1A2 金曜日 8:30～12:10

10月16日 環境保健学総論
渡辺知保 (人類生態学)

10月23日 地球環境問題と健康
橋爪真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)

10月30日 大気汚染とその健康影響

				新田裕史 (国立環境研究所)
11月6日	職場環境における化学物質による中毒とその予防について			吉田稔 (八戸学院大学)
11月20日	環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価			大迫誠一郎 (疾患生命工学センター)
11月27日	環境リスクアセスメント論/疾病適応論・マラリアを題材にして			中澤港 (神戸大学)
12月4日	微量元素			渡辺知保 (人類生態学)
2016年度	選択・2単位	3年 A1	木曜日 8:30~12:10	
9月30日	環境保健学総論			渡辺知保 (人類生態学)
10月7日	環境有害化学物質の毒性発現メカニズムと健康リスク評価			大迫誠一郎 (疾患生命工学センター)
10月14日	大気汚染とその健康影響			新田裕史 (国立環境研究所)
10月21日	職場環境における化学物質による中毒とその予防について			吉田稔 (八戸学院大学)
10月28日	地球環境問題と健康			橋爪真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)
11月4日	環境リスクアセスメント論/疾病適応論・マラリアを題材にして			中澤港 (神戸大学)
11月11日	複合曝露・planetary boundaries			渡辺知保 (人類生態学)

【環境工学・人間工学】

2015年度	選択・2単位	4年 S1	木曜日 8:30~12:10	
4月9日	環境工学におけるリスク管理			福士謙介 (サステイナビリティ学連携研究機構)
4月16日	生物・ヒトの生存戦略と未来環境			磯山隆 (医用生体工学)
4月23日	薬を届け、病気を治すナノマシンの開発			宮田完二郎 (疾患生命工学センター臨床医工学部門)
4月30日	水中の病原微生物と上下水道			片山浩之 (工学系研究科都市工学専攻水環境制御研究室)
5月14日	空間解析と空間心理工学			浅見泰司 (工学系研究科都市工学専攻)
5月21日	Ecological Momentary Assessment の臨床応用			吉内一浩 (ストレス防御・心身医学/心療内科)
2016年度	選択・2単位	4年 S1	木曜日 8:30~12:10	
4月13日	ナノマシンを用いたピンポイント治療			内田智士 (工学系研究科バイオエンジニアリング専攻)
4月20日	環境工学におけるリスク管理			福士謙介 (サステイナビリティ学連携研究機構)
4月27日	Ecological Momentary Assessment の臨床応用			

- 吉内一浩 (ストレス防御・心身医学／心療内科)
- 5月11日 都市環境と犯罪・身体活動
樋野公宏 (工学系研究科都市工学専攻)
- 5月18日 ロボット工学とサイバーフィジカル
森武俊 (ライフサポート技術開発学)
野口博史 (ライフサポート技術開発学)
- 5月25日 生物・ヒトの生存戦略と未来環境
磯山隆 (医用生体工学)

【人口学】

- 2015年度 選択・1単位 3年 A2W 月曜日 16:50～18:35
- 12月7日 イントロダクション・形式人口学・日本の人口問題
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 12月14日 出生の生物人口学担当
小西祥子 (人類生態学)
- 12月21日 形式人口学の演習・日本の人口問題にかかわる課題検討
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 1月4日 日本の人口問題:課題研究の発表
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 1月13日(8:30～10:15)
人口学の数理モデル
中澤港 (神戸大学)
- 1月25日 アラブ社会の人口学・地域人口分析担当
末吉秀二 (吉備国際大学)
- 2月1日 将来人口推計(演習)
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 2016年度 選択・1単位 3年 A2 月曜日 16:50～18:35
- 11月21日 形式人口学(1)
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 12月1日 形式人口学(2)
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 12月5日 出生力の生物学
小西祥子 (人類生態学)
- 12月12日 アラブ社会の人口学
末吉秀二 (吉備国際大学)
- 12月19日 日本の人口問題
梅崎昌裕 (人類生態学)
- 1月13日 人口学の数理モデル(8:30～10:15)
中澤港 (神戸大学)
- 1月16日 途上国の人口問題
梅崎昌裕 (人類生態学)

【国際保健学】

- 2016年度 必修・1単位 2年 A1 月曜日 14:55～16:40
- 9月26日 Planetary Health の考え方

- 渡辺知保 (人類生態学)
- 10月3日 Innovation in Global Health
阿部サラ (国際保健政策学)
- 10月17日 薬剤標的としてのタンパク質合成系
渡邊洋一 (保健栄養学/生物医科学)
- 10月24日 インフルエンザと急性脳症
水口雅 (母子保健/発達医科学)
- 10月31日 感染症とゲノム
徳永勝士 (人類遺伝学)
- 11月7日 国際保健におけるポジティブ・エビデンス・アプローチ
神馬征峰 (国際地域保健学)

【環境と健康】

- 2016年度 必修・2単位 2年 A2 木曜日 8:30~12:10
- 12月1日 環境論(還元的アプローチ):物理的環境
渡辺知保 (人類生態学)
- 12月8日 大気汚染:基礎と過去/現状と課題
新田裕史 (国立環境研究所)
- 12月15日 地球環境:主な地球環境問題/実際の取り組みと課題
橋爪真弘 (長崎大学熱帯医学研究所)
- 12月22日 水・食品と健康
大迫誠一郎 (疾患生命工学センター)
社会心理環境と健康
島津明人 (精神保健学)
- 1月12日 職業曝露と健康:職業保健の基礎/職業現場での化学物質曝露
吉田稔 (八戸学院大学)
- 1月19日 複合要因の問題:統合的アプローチ
渡辺知保 (人類生態学)

学部実習

【環境保健学実習】

- 2015年度 選択・2単位 4年 S1S2
- 2016年度 選択・2単位 4年 S2

【保健学実習・検査法実習】

- 2015年度 必修・3単位 3年 A1
10月7日、8日 「環境化学」 清水華(人類生態学)、小西祥子(人類生態学)
- 2016年度 必修・3単位 3年 S2
7月13日、14日 「環境化学」 小西祥子(人類生態学)、小坂理子(人類生態学)

原書購読

2015 年度

福富和夫・橋本修二(2014)「保健統計・疫学」の輪読

2016 年度

1 週間のプロGRESSレポート／学習と研究の計画

大学院講義

【Human Ecology I (人類生態学特論 I)】

2015

April 17 Ecology and human Ecology
Chiho Watanabe

April 24 Methods in environmental health
Chiho Watanabe

May 1 Methods for behavioral survey
Masahiro Umezaki

May 8 Human Ecology of urban population
Chiho Watanabe

May 15 Methods for nutritional survey
Masahiro Umezaki

May 29 Human ecology in international health
Kazuhiro Moji

2016

April 22 Ecology and human Ecology/Ecology of diseases
Chiho Watanabe

May 6 Methods for nutritional survey/Methods for demographic survey
Masahiro Umezaki

May 13 Methods for behavioral survey
Masahiro Umezaki

May 20 Human ecology in international health
Kazuhiro Moji

May 27 Methods in environmental health
Chiho Watanabe

June 3 Human ecology of urban population/Sustainability and health
Chiho Watanabe

【Human Ecology II (人類生態学特論 II)】

2015

November 18 Introduction to science of population and life-cycle
Ryuichi Kaneko

(National Institute of Population and Social Security Research)

November 25 Human-chimpanzee interfaces in the West African landscape: Evolution,
zoonoses and conservation.

Gen Yamakoshi (Kyoto University)

December 2 Heavy metals in our environment: exposure, health risk and source

- apportionment
 Jun Yoshinaga (The University of Tokyo)
- December 9 Environmental contaminants and children's health
 Seiichiro Himeno (Tokushima Bunri University)
- 2016
- October 25 Human-chimpanzee interfaces in the West African landscape: Evolution,
 zoonoses and conservation
 Gen Yamakoshi (Kyoto University)
- November 1 Role of environmental monitoring in the international treaties
 : Stockholm conservation and Minamata conservation
 Yasuyuki Shibata (National Institute of Environmental Studies)
- November 8 Introduction to science of population and life-cycle
 Ryuichi Kaneko
 (National Institute of Population and Social Security Research)
- November 15 Environmental contaminants and children's health
 Seiichiro Himeno (Tokushima Bunri University)

卒業論文

2015 年度

該当なし

2016 年度

坂東秀憲 買い物環境と高齢者の栄養摂取の関係:徳島県山間部における事例研究

櫻井 愛 ダッカにおける地表面温度と下痢症の関係の地区による差異の分析

修士論文

2015 年度

Marinjho Emely Hilla Jonduo

Lifestyle, nutritional status and microbiota: An association study in Papua New Guinea Highlands.

2016 年度

佐方奏夜子

日本における早産率および早産の関連要因:全国人口動態調査とインターネット調査の分析

Preterm birth rates in Japan and their associated factors: Analysis of national vital statistics and Internet-based survey data

博士論文

2015 年度

小坂理子

世帯内で生じる栄養不良の二重負荷—インドネシア・西ジャワにおける食事・身体活動の調査—

The double burden of malnutrition within household: An investigation of diet and physical activity in West Java, Indonesia

2016 年度

矢澤亜季

中国福建省農村部における出稼ぎ労働者家族の心理ストレス

Psychological impact of rural-to-urban migration on those left behind in rural Fujian, China.

研究業績

原著論文

原則として、教室員が在籍中にデータ収集、統計解析、論文執筆のいずれかを実施したもののうち、2015年から2017年5月末日までに掲載または受理された論文を掲載。

2017

- Chen SM, Qui L, Du ZH, Jin YM, Du JW, Chen Y, Watanabe C, Umezaki M. (in press) Spatial clustering of severe hand-foot-mouth disease cases in Hainan Island, China. *Japanese Journal of Infectious Diseases*.
- Inoue Y, Stickley A, Yazawa A, Aida J, Kawachi I, Kondo K, Fujiwara T. Adverse childhood experiences, exposure to a natural disaster, and posttraumatic stress disorder among survivors of the 2011 Great East Japan earthquake and tsunami. *Epidemiology and Psychiatric Sciences*. (in press)
- Kosaka S, Umezaki M (2017) A Systematic Review of the Prevalence and Predictors of the Double Burden of Malnutrition within Households. *British Journal of Nutrition* (in press).
- Phosri A, Ueda K, Tasmin S, Kishikawa R, Hayashi M, Hara K, Uehara Y, Phung VLH, Yasukouchi S, Konishi S, Honda A, Takano H (2017) Interactive effects of specific fine particulate matter compositions and airborne pollen on frequency of clinic visits for pollinosis in Fukuoka, Japan. *Environmental Research*, 156:411-419.
- Rarau P, Vengiau G, Gouda H, Phuanukoonon S, Kevau IH, Bullen C, Scragg R, Riley I, Marks G, Umezaki M, Morita A, Oldenburg B, McPake B, Pulford J. (in press) The prevalence of non-communicable disease risk factors in three sites across Papua New Guinea: A cross-sectional study. *BMJ Global Health*.
- Sakata S, Konishi S, Ng CFS, Kishikawa R, Watanabe C (2017) Association of Asian Dust with daily medical consultations for pollinosis in Fukuoka City, Japan. *Environmental Health and Preventive Medicine*, 22:25.
- Ser PH, Omi S, Shimizu-Furusawa H, Yasutake A., Sakamoto M, Hachiya N, Konishi S, Nakamura M, Watanabe C (2017) Differences in the responses of three plasma selenium-containing proteins in relation to methylmercury-exposure through consumption of fish/whales. *Toxicology Letters*, 267:53-58.
- Stickley A, Ng CFS, Konishi S, Koyanagi A, Watanabe C (2017) Airborne pollen and suicide mortality in Tokyo, 2001–2011. *Environmental Research*, 155:134-140.

2016

- Igai K, Itakura M, Nishijima S, Tsurumaru H, Suda W, Tsutaya T, Tomitsuka E, Tadokoro K, Baba J, Odani S, Natsuhara K., Morita A., Yoneda M., Greenhill AR, Horwood PF, Inoue J, Ohkuma M, Hongoh Y, Yamamoto T, Siba PM, Hattori M, Minamisawa K, Umezaki M (2016) Nitrogen fixation and nifH diversity in human gut microbiota. *Scientific Reports*, 6, 31942
- Inoue Y, Stickley A., Yazawa A., Fujiwara T, Kondo K, Kondo N (2016) Month of birth is associated with mortality among older people in Japan: Findings from the JAGES cohort. *Chronobiology international*, 33:441-447.
- Inoue Y, Stickley A, Yazawa A., Shirai K, Amemiya A., Kondo N, Kondo K, Ojima T, Hanazato M, Suzuki N, Fujiwara T (2016) Neighborhood characteristics and cardiovascular risk among older people in Japan: findings from the JAGES project. *PLoS one*, 11(10), e0164525.
- Inoue Y, Umezaki M (2016) Medical pluralism and traditional/complementary and alternative medicine use among older people: a cross-sectional study in a rural mountainous village in Japan. *Journal of Cross-cultural Gerontology*, 31:57-72.

- Inoue Y, Stickley A, Yazawa A, Li D, Du J, Jin Y, Chen Y, Watanabe C (2016) The association between economic development, lifestyle differentiation, and C-reactive protein concentration within rural communities in Hainan Island, China. *American Journal of Human Biology*, 28:186-196.
- Konishi S, Ng CFS, Stickley A, Watanabe C (2016) Pollinosis and all-cause mortality among middle-aged and elderly Japanese: a population-based cohort study. *Clinical & Experimental Allergy*, 46:1083-1089.
- Konishi S, Tamaki E (2016) Pregnancy intention and contraceptive use among married and unmarried women in Japan. *Japanese Journal of Health and Human Ecology*, 82:110-124.
- Konishi S, O'Connor, KA (2016) Salivary but not blood cortisol excretion is associated with metabolic biomarkers in healthy young women. *American Journal of Human Biology*, 28:539-544.
- Morita A., Natsuhara K., Vengiau G, Chia - Jung Chen C, Odani S, Inaoka T, Tadokoro K, Suda K, Furusawa T, Phuanukoonnon S, Umezaki M (2016) Reduced morning cortisol concentration in saliva was associated with obesity: Evidence from community - dwelling adults in Papua New Guinea. *American Journal of Human Biology*.
- Ng CFS, Boeckmann M, Ueda K, Zeeb H, Nitta H, Watanabe C, Honda Y (2016) Heat-related mortality: Effect modification and adaptation in Japan from 1972 to 2010. *Global Environmental Change*, 39: 234-243.
- Ng CFS, Stickley A, Konishi S, Watanabe C (2016) Ambient air pollution and suicide in Tokyo, 2001–2011. *Journal of Affective Disorders*, 201:194-202.
- Nishihama Y, Yoshinaga J, Iida A, Konishi S, Imai H, Yoneyama M., Nakajima, D. & Shiraishi, H. (2016). Association between parabens exposure and menstrual cycle in female university students in Japan. *Reproductive Toxicology*, 63, 107-113.
- Saw YM, Saw TN, Wai KM, Poudel KC, Win HH (2016) Correlates of sex trading among male non-injecting drug users in Myanmar: a cross-sectional study. *Harm Reduction Journal*, 13:34
- Stickley A, Ng CFS, Inoue Y, Yazawa A, Koyanagi A, Kodaka M, DeVlyder J E, Watanabe C (2016) Birthdays are associated with an increased risk of suicide in Japan: Evidence from 27,007 deaths in Tokyo in 2001–2010. *Journal of Affective Disorders*, 200:259-265.
- Umezaki M, Naito YI, Tsutaya T, Baba J, Tadokoro K, Odani S, Morita A, Natsuhara K, Phuanukoonnon S, Vengiau G, Siba PM, Yoneda M (2016) Association between sex inequality in animal protein intake and economic development in the Papua New Guinea highlands: The carbon and nitrogen isotopic composition of scalp hair and fingernail. *American Journal of Physical Anthropology*, 159:164-173.
- Yazawa A, Inoue Y, Fujiwara T, Stickley A, Shirai K, Amemiya A, Kondo N, Watanabe C, Kondo K (2016) Association between social participation and hypertension among older people in Japan: the JAGES Study. *Hypertension Research*, 39:818-824.

2015

- Chen SM, Du JW, Jin YM, Qiu L, Du ZH, Li DD, Chen HY, Watanabe C, Umezaki M (2015) Risk factors for severe hand-foot-mouth disease in children in Hainan, China, 2011-2012. *Asia-Pacific Journal of Public Health*, 27:715-722.
- Greenhill AR, Tsuji H, Ogata K, Natsuhara K, Morita A, Soli K, Larkins JA, Tadokoro K, Odani S, Baba J, Naito Y, Tomitsuka E, Nomoto K, Siba PM, Horwood PF, Umezaki M (2015) Characterization of the gut microbiota of Papua New Guineans using reverse transcription quantitative PCR. *PLoS One*, 10:e0117427.
- Hamamatsu Y, Watanabe C, Umezaki M (2015) Secondary sex ratio and marriage after disaster: a reply to O'Donnell and Behie. *Journal of Biosocial Science*, 47:417-420.

- Morita A, Natsuhara K, Tomitsuka E, Odani S, Baba J, Tadokoro K, Igai K, Greenhill AR, Horwood PF, Soli KW, Phuanukoonnon S, Siba PM, Umezaki M (2015) Development, validation, and use of a semi-quantitative food frequency questionnaire for assessing protein intake in Papua New Guinean Highlanders. *American Journal of Human Biology*, 27:349-357.
- Naito YI, Morita A, Natsuhara K, Tadokoro K, Baba J, Odani S, Tomitsuka E, Igai K, Tsutaya T, Yoneda M, Greenhill AR, Horwood PF, Soli KW, Phuanukoonnon S, Siba PM, Umezaki M (2015) Association of protein intakes and variation of diet-scalp hair nitrogen isotopic discrimination factor in Papua New Guinea highlanders. *American Journal of Physical Anthropology*, 158:359-370.
- Nishihama Y, Yoshinaga J, Iida A, Konishi S, Imai H (2015) Menstrual cycle length and source of its variation in female university students majoring in nursing sciences. *看護女子大学生の月経周期とその変動要因 Nihon Eiseigaku Zasshi 日本衛生学雑誌*, 70:139-148. [in Japanese]
- Parajuli RP, Fujiwara T, Umezaki M, Watanabe C (2015) Home environment and cord blood levels of lead, arsenic, and zinc on neurodevelopment of 24 months children living in Chitwan valley, Nepal. *Journal of Trace Elements in Medicine and Biology*, 41:89-95.
- Parajuli RP, Umezaki M, Fujiwara T, Watanabe C (2015) Association of cord blood levels of lead, arsenic, and zinc and home environment with neurodevelopmental indicators of 36 months children living in Chitwan valley, Nepal. *PLoS One*, 10:e0120992.
- Sekiyama M, Jiang HW, Gunawan B, Dewanti L, Honda R, Shimizu-Furusawa H, Abdoellah O, Watanabe C (2015) Double burden of malnutrition in rural West Java: household-level analysis for father-child and mother-child pairs and the association with dietary intake. *Nutrients*, 10:8376-8391.
- Sekiyama M, Shimmura T, Nakazaki M, Akbar IB, Gunawan B, Abdoellah O, Masria S, Dewanti L, Ohtsuka R, Watanabe C (2015) Organophosphorus pesticide exposure of school children in agricultural villages in Indonesia. *Journal of Pregnancy and Child Health*, 2:153.
- Ser PH, Banu B, Jebunnesa F, Fatema K, Rosy N, Yasmin R, Furusawa H, Ali L, Ahmad SA, Watanabe C (2015) Arsenic exposure increases maternal but not cord serum IgG in Bangladesh. *Pediatrics International*, 57:119-125.
- Shinsugi C, Stickley A, Konishi S, Ng CFS, Watanabe C (2015) Seasonality of child and adolescent injury mortality in Japan, 2000-2010. *Environmental Health and Preventive Medicine*, 20:36-43.
- Tasmin S, Furusawa H, Ahmad SA, Faruquee MH, Watanabe C (2015) Delta-aminolevulinic acid dehydratase (ALAD) polymorphism in lead exposed Bangladeshi children and its effect on urinary aminolevulinic acid (ALA). *Environmental Research*, 136:318-323.
- Wai KM, Shibanuma A, Oo NN, Fillman TJ, Saw YM, Jimba M (2015) Are husbands involving in their spouses' utilization of maternal health care services? A cross-sectional study in Yangon, Myanmar, *PLoS ONE*, 10(12):e0144135.
- Yazawa A, Inoue Y, Stickley A, Li D, Du J, Watanabe C (2015) The effects of season of birth on the inflammatory response to psychological stress in Hainan Island, China. *PLoS One*, 10:e0139602.
- Yoshida N, Inaoka T, Sultana N, Ahmad SA, Mabuchi A, Shimizu H, Watanabe C (2015) Non-monotonic relationships between arsenic and selenium excretion and its implication on arsenic methylation pattern in a Bangladeshi population. *Environmental Research*, 140:300-307.

単行本

該当なし

総説・資料・他

- 小坂理子 (2015) 肥満のお母さんと低栄養の子どもたち:インドネシアの都市部における栄養生態学. 生態人類学会ニュースレター 21: 53-55.
- 小西祥子 (2015) 男女の年齢と不妊:出生の生物学的人口学の視点から. 医学のあゆみ, 254:517-519.

学会発表

教室員が在籍中に発表したもののうち、2017年6月4日までに情報が収集できたもののみ掲載。

- Igaki S, Pongvongsa T, Watanabe C, Moji K. Ecohealth approach to liver fluke in Lao PDR: What has been solved and what is unsolved? 3rd JSPS/GRENE-Ecohealth joint International Symposium on Development of international network on health risk assessment in urban area. March 12, 2016, Bali, Indonesia.
- Inoue Y, Stickley A, Yazawa A, Fujiwara T, Kondo K, Kondo N. December birth is associated with higher mortality among older people in Japan: Findings from the JAGES cohort. Human Biology Association Annual Meeting 2016, April 13, 2016, Atlanta, GA.
- Konishi S, Saotome T, Tsurumaki K, O'Connor KA. The first trial of a prospective study on time to pregnancy in Japan. Conference of International Society for Environmental Epidemiology and International Society of Exposure Science - Asia Chapter 2016 (ISEE-ISES AC2016), June 28, 2016, Sapporo.
- Konishi S, Saotome T, Tsurumaki K, Sakata S, O'Connor KA. Age and time to pregnancy among Japanese couples. The 68th Annual Meeting of the Population Association of Japan, June 12, 2016, Kashiwa. (in Japanese)
- Mallee H, Moji K, Watanabe C, Hongwei J. The development of ecohealth thinking and research in Japan. The 4th International one health congress and 6th biennial congress of the international association for ecology and health. December 3-7, 2016, Melbourne, Australia.
- Matsuno Y, Yusunita S, Raksanagara A. "Choosing" the source of drinking water; observation in a densely populated area in Bandung. 3rd JSPS/GRENE-Ecohealth joint International Symposium on Development of international network on health risk assessment in urban area. March 12, 2016, Bali, Indonesia.
- Ng CFS, Stickley A, Konishi S, Watanabe C. Association between air pollution and suicide in Tokyo. 26th Annual Scientific Meeting of the Japan Epidemiological Association. January 23, 2016, Yonago, Tottori, Japan.
- Ng CFS, Boeckmann M, Ueda K, Zeeb H, Nitta H, Watanabe C, Honda Y. Effect modification by prefecture characteristics on the decline of heat-related mortality in Japan, 1972 to 2010. 27th Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology. September 2, 2015, Sao Paulo, Brazil.

- Ng CFS, Abdullah NA, Wan Mahiyuddin WR, Ueda K, Kurata G, Watanabe C, Abd Samad BH, Latif MT, Toha HR, Maali S, Yusoff AF, Mustafa AN, Daros S, Sahani M. Can low carbon development strategies reduce the health effects of particulate air pollution? Findings from a mixed industrial area in Malaysia. 27th Annual Conference of the International Society for Environmental Epidemiology. August 31, 2015, Sao Paulo, Brazil.
- Tamaki E, Konishi S. The social determinants of menstrual cycle characteristics among Japanese women. The 111th American Sociological Association Annual Meeting, August 20, 2016, Seattle.
- Umezaki M. Adaptation to a low-protein diet among Papua New Guinea Highlanders. Japanese-Swiss Ecohealth Colloquium, January 11-12, 2017, Swiss Tropical and Public Health Institute, Basel, Switzerland.
- Umezaki M. Nutritional Adaptation Studies in Papua New Guinea Highlands. The 11th International Conference of the Society of Human Ecology, April 12-15, 2016, Santa Ana, USA.
- Watanabe C. Environmental health in Japanese and in sustainability context. 2nd International Forum on Sustainability in ASIA (2nd NIES International Forum), January 26, 2017, Bali, Indonesia.
- Watanabe C. Connecting earth observation and health event in developing countries. Future earth international co-design workshop. January 17, 2017, Science Council of Japan, Tokyo.
- Watanabe C. Environmental pollution and NCDs in Japanese context. Japanese-Swiss Ecohealth Colloquium, 12 January, 2017, Swiss Tropical and Public Health Institute, Basel, Switzerland.
- Watanabe C. What is regional specificity for health sciences? The relevance of Area studies for the sciences and public policy examples from Europe & Asia. 14 November 2016, Tokyo.
- Watanabe C. Establishment of research platform for developing models to predict future health risks posed by changes in climate, land use and population ("Ecohealth"). 10th National Health Research Forum, October 27, 2016, Savannakhet, Lao PDR.
- Watanabe C. Using ICT-collected human mobility data in human ecological research. The 11th International Conference of the Society of Human Ecology, April 14, 2016, Santa Ana, USA.
- Watanabe C. Diverse aspects of current human ecological research in Japan [session organizer] The 11th International Conference of the Society of Human Ecology, April 14, 2016, Santa Ana, USA.
- Watanabe C. The Shape of human ecology: A bird's eye view of the human ecology programs worldwide [panel]. The 11th International Conference of the Society of Human Ecology, April 13, 2016, Santa Ana, USA.
- Watanabe C. Adaptation to climate change: Health aspect in Japanese perspectives. Symposium on climate change adaptation initiative in Indonesia. March 11, 2016, Bali, Indonesia
- Yasumoto S, Jones AP, Oyoshi K, Kanasugi H, Sekimoto Y, Shibasaki R, Comber A, Watanabe C. Health exposure assessment based on individual daily mobility patterns in Dhaka, Bangladesh. 3rd JSPS/GRENE-Ecohealth joint International Symposium on Development of international network on health risk assessment in urban area. March 12, 2016, Bali, Indonesia.
- 猪飼桂, 板倉学, 西嶋傑, 鶴丸博人, 須田互, 富塚江利子, 田所聖志, 馬場淳, 小谷真吾, 夏原和美, 森田彩子, 米田穰, 井上潤一, 大熊盛也, 本郷裕一, 山本太郎, Peter Siba, 服部正平, 南澤究, 梅崎昌裕. ヒト腸内微生物叢における窒素固定活性と nifH 遺伝子の多様性. 日本微生物生態学会第 30 回大会, 2015 年 10 月 17-20 日, 土浦.

- 梅崎昌裕. パプアニューギニア高地人の低タンパク適応と腸内細菌叢. 第 38 回日本臨床栄養学会総会シンポジウム, 2016 年 10 月 9 日, 大阪.
- 梅崎昌裕. パプアニューギニア高地人の低タンパク適応における腸内細菌の役割. JCHM 第 4 回シンポジウム, 2016 年 6 月 8 日, 東京.
- 小坂理子. ジャワ島におけるテンペの嗜好品性. 第 13 回嗜好品文化フォーラム. 2015 年 5 月 16 日. 京都.
- 小坂理子. 肥満のお母さんと低栄養の子どもたち: インドネシアの都市部における栄養生態学. 第 20 回生態人類学会. 2015 年 3 月 26 日. 秋田.
- 小西祥子, Chris Fook Sheng Ng, 小澤 仁, 増山敬祐. 花粉症の受診行動の男女差: 日ごとの受診者数の分析から. 日本花粉学会第 57 回大会, 2016 年 10 月 1 日, 日立.
- 小西祥子, Chris Fook Sheng Ng, Andrew Stickley, 渡辺知保. 中高年の花粉症と死亡率: こもいせコホート調査から. 日本花粉学会第 56 回大会, 2015 年 10 月 4 日草津.
- 小西祥子. 少子化時代の生物人口学(趣旨説明). 日本人口学会第 67 回大会, 2015 年 6 月 7 日, 名古屋.
- 小西祥子, 玉置えみ. 不妊治療の経験と関連する人口学的、社会経済的、生物学的要因. 日本人口学会第 67 回大会, 2015 年 6 月 7 日, 名古屋.
- 佐方奏夜子, 小西祥子. 早産と不妊の関連—日本におけるインターネットを用いた横断研究—. 第 81 回日本民族衛生学会総会, 2016 年 11 月 26-27 日, 東京.
- 白井こころ, 藤原武男, 井上陽介, 磯博康, 雨宮愛理, 矢澤亜季, 近藤尚己, 近藤克則: 物理的・心理的環境要因とCKDリスクの関連についての検討 JAGES Study. 第 26 回日本疫学会. 2016 年 1 月 23 日. 鳥取.
- 玉置えみ, 小西祥子. 月経不順の規定要因: 生活習慣に注目して. 日本人口学会第 67 回大会, 2015 年 6 月 7 日, 名古屋.
- 富塚江利子, 増岡弘晃, 須田互, 猪飼桂, 田所聖志, 馬場淳, 森田彩子, 内藤裕一, Paul Horwood, Andrew Greenhill, Peter Siba, 小谷真吾, 夏原和美, 服部正平, 森田英利, 平山和宏, 梅崎昌裕. 腸内細菌代謝物と腸内細菌移植マウスの解析によるパプアニューギニア高地人の低タンパク適応機序の解明. 日本薬学会第 136 年会, 2016 年 3 月 26-29 日, 横浜.
- 富塚 江利子, 増岡 弘晃, 須田 互, 猪飼 桂, 田所 聖志, 馬場 淳, 森田 彩子, 内藤 裕一, Paul Horwood, Andrew Greenhill, Peter Siba, 小谷 真吾, 夏原 和美, 服部 正平, 森田 英利, 平山 和宏, 梅崎 昌裕. 腸内細菌による宿主代謝変化の解析—低タンパク適応機構の解明—. 第 39 回日本分子生物学会年会, 2016 年 11 月 30 日—12 月 2 日, 横浜.
- 富塚江利子, 猪飼桂, 須田互, 田所聖志, 馬場淳, 森田彩子, 内藤裕一, 小谷真吾, 夏原和美, Paul Horwood, Andrew Greenhill, Peter Siba, 森田英利, 服部正平, 梅崎昌裕. 腸内細菌メタボローム解析およびヒト腸管を模した細胞培養系による低タンパク適応機序の解明. 第 56 回新潟生化学懇話会, 2015 年 6 月 20 日, 新潟.
- 西浜柚季子, 吉永淳, 飯田彩花, 中島大介, 米山美幸, 白石寛明, 今井秀樹, 小西祥子. 女子大学生の血清中抗ミュー管ホルモン (AMH) 濃度とパラベン類曝露との関係. 第 86 回日本衛生学会学術総会, 2016 年 5 月 13 日, 旭川.
- 渡辺知保. 微量元素と成長・発達. 第 81 回日本民族衛生学会総会, 2016 年 11 月 26-27 日, 東京.
- 渡辺知保, 門司和彦, 福士謙介, 渡部徹, 片山浩之, 渡辺幸三, 安本晋也, 柴崎亮介, 小池俊雄. 複数の健康イベントに気候変動が及ぼす影響の解明・予測に向けた環境データ活用の試み. 第 86 回日本衛生学会, 2016 年 5 月 13 日, 旭川.

受賞

平成 28 年優秀論文賞 日本民族衛生学会 "Pregnancy intention and contraceptive use among married and unmarried women in Japan" Shoko KONISHI, Emi TAMAKI
Vol.82 No.3 p.110-124 (小西祥子)

Distinguished Leadership Award, Society for Human Ecology, 2016 (C. Watanabe)

競争的資金の獲得

政府系競争資金

2011-2015年度 文部科学省 165,000,000円環境技術等研究開発推進事業費補助金大学発グリーンイノベーション創出事業「グリーン・ネットワーク・オブ・エクセレンス」(GRENE)事業環境情報分野 気候, 土地利用, 人口の変化が引き起こす新たな健康リスクの予測モデル構築とその検証に関する研究基盤形成(代表:渡辺知保)

2012-2016年度 科学研究費補助金・基盤研究(S) 研究課題番号:24221003「微細形態解析による発達神経毒性メカニズムの解明研究課題」(代表者:遠山千春;分担者:渡辺知保)

2013-2015年度 科学研究費補助金・特別研究員奨励費 研究課題番号 25・6172「中国海南島少数民族コミュニティにおける都市化による健康影響の多様性」(矢澤亜季)

2013-2015年度 科学研究費補助金・特別研究員奨励費 研究課題番号 25・03501「低炭素社会による大気汚染物質濃度低減を介した健康へのインパクトの定量化手法の開発」(NG, Chris Fook Sheng)

2014-2017年度 科学研究費補助金・基盤研究(C) 研究課題番号:26360004「パプアニューギニアにおける2つの天然資源開発地における社会変化の類似点と相違点」(代表者:田所聖志;分担者:梅崎昌裕)

2014-2016年度 科学研究費補助金・基盤研究(A) 研究課題番号:26249074「携帯電話を利用した国土スケールの人口分布や移動の動態解析とその応用」(代表者:柴崎 亮介;分担者:渡辺知保)

2014-2016年度 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 3,640,000円 研究課題番号:26670328「遺伝的多様性を高めるヒトの配偶者選択と繁殖行動に関する行動遺伝学的解析」(古澤華)

2014-2016年度 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 2,210,000円 研究課題番号:26760001「越境する人口集団の持続的健康—中国海南省文昌市大宝村を中心とした拡がり—」(井上陽介)

2015-2016年度 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 研究課題番号:15K12783「なぜゴカイを食べるのか?:アジア・太平洋島嶼部における食料選択の総合的地域研究」(代表者:古澤拓郎;分担者:古澤華)

2015-2018年度 科学研究費補助金・基盤研究(B) 15,210,000円 研究課題番号:15H04430「人類の低タンパク適応能の研究」(梅崎昌裕)

2015-2016年度 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 3,510,000円 研究課題番号:15K15233「買い物環境が高齢者の食生活に与える影響:国内5地域での研究」(梅崎昌裕)

2015-2017年度 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究 研究課題番号:15K12787「ラオスの農業開発に伴う水田漁労・家畜飼育の変化と経済・栄養・健康状態の変化」(代表者:稲岡司;分担者:梅崎昌裕)

2015-2018 年度 科学研究費補助金・基盤研究(C) 研究課題番号:15K03031 「地方自治体における人類学的調査を通じた日本における人口問題の多角的分析」(代表者:小谷真吾;分担者:梅崎昌裕)

2015-2018 年度 科学研究費補助金・基盤研究(C) 研究課題番号:15K08784「発達期の低濃度複合水銀曝露が加齢時における神経行動毒性に及ぼす影響と遺伝的修飾」(代表者:吉田稔;分担者:渡辺知保)

2016-2018 年度 科学研究費補助金・基盤研究(C) 16,510,000 円 研究課題番号:16H05254 「小児における無機ヒ素毒性のセレンによる修飾:テロメア長を用いた検討」(渡辺知保)

2016-2018 年度 科学研究費補助金・基盤研究(C) 5,070,000 円 研究課題番号:16K09126 「コホート研究に基づく受胎確率の推定」(小西祥子)

宇宙航空科学技術推進委託費「宇宙・UAV・IoT 技術の連携によるマラリア対策支援サービスの開発」(代表者:柴崎亮介;分担者:渡辺知保)

平成 28 年度地球観測技術等調査研究委託事業「地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム基幹アプリケーション FS (開発途上国大都市の健康課題解決:デング熱発症警報システムの構築を中心として)」(渡辺知保)

その他の競争資金

2015-2016 年度 富士ゼロックス株式会社 小林基金
小林フェローシッププログラム「インドネシア都市部で顕在化する栄養不良の世帯内二重負荷」総額 960,000 円(小坂理子)

2016-2017 年度 サントリー文化財団「縮小する地方:コミュニティーの自助解決事例集」総額 800,000 円(梅崎昌裕)

2015 年度 総合健康推進財団研究助成「少子高齢化による買い物環境と食生活の変容」総額 700,000 円(梅崎昌裕)

2015-2016 年度 タケダ科学振興財団「人類の低タンパク適応に腸内細菌が果たす役割」総額 2,000,000 円

2015 年度 公益信託タニタ健康体重基金「肥満に関連する腸内細菌種リストの作成」総額 500,000 円(梅崎昌裕)

2015-2017 年 こもいせ研究費 100,000 円「既往出生児数と死亡リスクの関連」(小西祥子)

2014-2016 年 こもいせ研究費 500,000 円「花粉症と死亡リスクの関連」(小西祥子)

2014-2016 年 安倍フェローシップ 98,747 米ドル 「低出生力に関わる生物・行動学的要因の日米比較」(小西祥子)

人類生態学研究会

第 29 回人類生態学研究会(2015 年 6 月 20 日) 於 教育研究棟第 5 セミナー室

大塚 柳太郎(一般財団法人自然環境研究センター)
1965-2005 年の人類生態学教室

渡辺 知保(人類生態学教室)
人類生態学教室の現在

Fillman, Toki(人類生態学教室)
Effects of arsenic and cadmium exposure on salivary telomere length in adolescents in Terai, Nepal

Ng, Chris Fook Sheng(人類生態学教室)
Decline in the acute effect of heat on mortality in Japan, 1972-2010: effect modification by prefecture-level characteristics

萩原 潤(宮城大学看護学部)
パプアニューギニア低地住民の家族データ再構成

田中 美加(北里大学看護学部)
地域在住高齢者における睡眠と抑うつ — 短期睡眠認知行動療法を用いた無作為化割り付け比較試験 —

第 30 回人類生態学研究会(2016 年 7 月 9 日) 於 教育研究棟第 5 セミナー室

佐方 奏夜子(人類生態学教室)
自然早産と妊娠待ち時間の関連: 日本におけるインターネットを用いた横断研究

小坂 理子(人類生態学教室)
栄養不良の二重負荷—インドネシア・西ジャワにおける食事・身体活動の調査—

濱松 由莉(株式会社三菱総合研究所 社会公共マネジメント研究本部)
日本の都市近郊における買い物環境と高齢者の食生活の関係—木更津市でのケーススタディ

姫野 誠一郎(徳島文理大学薬学部)
カンボジアヒ素汚染地域での 5 年間の調査

教室員一覧

名誉教授	鈴木 継美	(2008年5月ご逝去)
	大塚 柳太郎	
教授	渡辺 知保	-2017.3
准教授	梅崎 昌裕	
助教	古澤 華	-2016.3
	小西 祥子	
	小坂 理子	2016.4-
特任助教(GRENE)	安本 晋也	-2015.9
特任助教(UEHAS)	井上 陽介	-2016.6
	梅村 光俊	2016.8-2017.3
日本学術振興会特別研究員	NG, Chris Fook Sheng	-2015.9
サポートスタッフ	高橋 絵実	-2017.3
	大和田 昌代	2015.6-
	FILLMAN, Toki Jennifer	2015.5-2015.10
博士課程大学院生	小坂 理子	-2016.3
	矢澤 亜季	-2017.3
	WAI, Kyi Mar	2015.4-
修士課程大学院生	岩上 俊	2015.4-
	JONDUO, Marinjho Emely Hilla	-2016.3
	佐方 奏夜子	-2017.3
	KHAN, Roksana	2016.4-
学部学生(卒業論文)	坂東 秀憲	2015.4-2017.3
	櫻井 愛	2016.4-2017.3

客員研究員

吉澤 剛士
田所 聖志
富塚 江利子
須田 一弘

非常勤講師

佐々木 誠一	茨城県立医療大学
中澤 港	神戸大学大学院保健学研究科
吉田 稔	八戸学院大学人間健康学部
新田 裕史	国立環境研究所
橋爪 真弘	長崎大学熱帯医学研究所
末吉 秀二	吉備国際大学社会学部
門司 和彦	長崎大学大学院国際健康開発研究科
姫野 誠一郎	徳島文理大学薬学部
稲岡 司	佐賀大学農学部
山越 言	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
金子 隆一	国立社会保障・人口問題研究所

人類生態学教室ウェブサイト

<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/>

教室員が発表した論文のリストは、下記ウェブサイトにも掲載しています。

<http://www.humeco.m.u-tokyo.ac.jp/gaiyou/publication/>